

日本児童文学学会 12月例会のご案内

拝啓 晩秋の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、日本児童文学学会12月例会を下記の通り、オンラインで開催いたします。

会員以外の方でも事前申し込みをいただければ参加できます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

シンポジウム:「シンデレラ譚から読み解く、17~19世紀英仏独の子どもと社会」

シンデレラ譚は長期にわたり、世相を反映しながら大人のみならず子どもに向けても繰り返し語られてきた。シンデレラ譚という同じ骨格を持つ作品が、どのように語りなおされ、受容されてきたかを分析することは、それを届ける〈子ども〉を、ひいては社会を読み解く鍵となるだろう。この狙いのもと、伊藤敬佑は *Cendrillon* (Perrault, 1697) のフランスでの受容を検討し、金子真奈美は主に *The History of Little Goody Two-Shoes* (Newbery, 1765) の、鈴木明日見は *Aschenputtel* (Grimm, 1812) の分析を行う。

シンポジスト：伊藤敬佑（白百合女子大学等非常勤講師）

金子真奈美（横浜商科大学特任講師）

鈴木明日見（駒澤大学非常勤講師）

司会 鶴野祐介（立命館大学）

〈日 時〉2021年12月11日(土) 午後2時~4時

〈参加費〉 無料

〈参加方法〉Zoom を用いたオンライン開催

※参加ご希望の方は、以下の Google フォームでお申し込みください。

折り返し Zoom の URL をお送りいたします。万が一、届かない場合は例会担当 (ishiim@fc.jwu.ac.jp) まで問い合わせください。

当日は、午後1時50分以降に、Zoom の URL にアクセスください。

お申し込み時と同じお名前で入室をお願いします。

お名前が一致した方の入室を許可いたします。

※申し込み締切：12月8日(水)

参加申し込みフォーム <https://bit.ly/3nenAcC>



〈シンポジスト・プロフィール〉

伊藤敬佑

2014年、白百合女子大学大学院博士後期課程単位取得退学。現在、白百合女子大学等非常勤講師。専門はフランスの子どもの本全般。第7回日本児童文学者協会評論新人賞入選。主要著書…村知稔三、佐藤哲也、鈴木明日見、伊藤敬佑編『子ども観のグローバル・ヒストリー』原書房、2018年。

金子真奈美

2011年、白百合女子大学大学院文学研究科児童文学専攻博士課程単位取得退学。現在、横浜商科大学特任講師。専門は英国における子ども向けのファンタジー。共訳書に『世界の絵本・児童文学図鑑』（井辻朱美監訳、2011年、柊風舎）など。

鈴木明日見

2011年、駒澤大学大学院博士後期課程単位取得退学。現在、日本音楽学校・駒澤大学非常勤講師。専門は中世ヨーロッパ(特にゲルマン時代)における家族史。主要著書…村知稔三、佐藤哲也、鈴木明日見、伊藤敬佑編『子ども観のグローバル・ヒストリー』原書房、2018年。

12月例会へのお問い合わせは、例会担当石井光恵 (ishiim@fc.jwu.ac.jp) へお願いいたします。